



第423号

公益社団法人
徳島県環境技術センター

発行

徳島市津田海岸町2-33
電話 (088) 636-1234(代)
FAX (088) 636-1122
発行責任者 大坂 利 弘
編集者 原岡 艶 甲

第5回

定時社員総会を開催

事業報告・決算報告を承認

県環境技術センターは、平成27年5月29日(金)午後3時より、徳島グランヴィリオホテルで、第5回(平成27年度)定時社員総会を開催した。



飯泉徳島県知事

井内副会長の開会あいさつのおと、大坂会長が式辞を述べ、続いて、ご出席の来賓の方々から祝辞をいただいた。

まず、飯泉知事が、「徳島県は汚水処理の6割を浄化槽で処理している。合併浄化槽の整備には、個人負担の問題等がネックとなっているが、すでに国にも地方創生の一環として市町村型整備の際の条件の見直しなどを提言しており、今後もあらゆる手法を駆使して市町村設置型での浄化槽整備を推進していきたい。

また、昨年は、清掃・保守点検・法定検査をまとめて契約する一括契約方式を推進するための協議会を那賀町、神山町に続き、県下、9市町で設立した。今後は、さらに協議会の推進、発展を進めたい。」と祝辞を述べられたあと、続いて、原秀樹徳島市長の代理でご出席いただいた鈴江副市長、顧問の長尾哲見県議会議員からそれぞれ祝辞をいただいた。

その後、司会の田中理事は、ご出席戴いているご来賓を紹介した。

次に、田中理事は、この社員総会は出席者130名(内委任状出席者83名含む)が出席し、過半数(77名)以上の出席があり成立していることを議場に告げ、定款に基づき、大坂会長が議長となり議事を進めた。

まず、議長は長地孝夫監事及び志摩恭臣監事を議事録署名人に指名、第1号議案：平成26年度事業報告及び計算書類の承認についての審議に入った。

議長は、議案の説明に、川人常任理事、原岡専務理事を指名し、事業報告を川人理事が、また、決算報告を原岡理事が行った。

両理事の説明の後、監事を代表して、長地監事が監査報告を行い、議長が議案の賛否につき、議場に諮った結果、満場異議なく承認、原案どおり可決した。

議案審議終了後、平成27年度事業計画及び予算書が報告され、最後に次のみなさんに会長表彰状が授与された。

また、総会審議終了後には、岩浅阿南市長も出席され、なごやかに懇親会が開催された。

＜会長表彰等を受賞された方は次のとおり＞

○会員功労表彰

(敬称略)

生 越 久 敏	(株)おごせ電機
椎 平 重 信	椎平建設(有)
福 井 又 男	(株)菱和
西 沢 貴 朗	(有)西沢建材センター
四国化成工業(株)	有機化成品営業部

○従業員表彰

葛 籠 隆 人	日徳三善電機(有)
地 上 敬 子	徳島環境整備(株)
佐々木 優 作	豊栄設備工業(株)
兵 藤 学	(株)庄野建材店
黒 川 昭 仁	(株)アズマ四国
中 川 幸 治	(有)山川清掃
原 稔 晴	大田環境設備
中 尾 郁 雄	(株)ダイキアクシス



平成 27 年度の 技術講習会のご案内

27年度の技術者講習の日程は下記のとおりです。

第1回：電磁ダイヤフラム式ブロワの構造と間欠タイマを搭載した最新の維持管理技術について

日程：平成27年7月24日 午後1時～

会場：徳島商工会議所

第2回：保守点検時の電気系統における注意点について

日程：平成27年10月23日 午後1時～

会場：ポリテクセンター

第3回：①維持管理契約に関するトラブル及び事故発生時の対応と事後措置について

②保守点検機器の測定原理と日常のメンテナンス及び交換時期等について

日程：平成28年2月18日 午後1時～

会場：徳島県立中央テクノスクール

詳細についてはセンター担当者までお問合せ下さい。

環境技術センター TEL088-636-1234 李保・北野

浄化槽管理士講習開催 第7回 徳島会場

浄化槽管理士講習(徳島会場)が6月1日から13日まで(13日間)の日程で徳島県立総合福祉センターで開催された。



徳島での開催は7回目となり今回は81名が受講した。

まず、開講式では主催者である日本環境整備教育センターの佐々木裕信理事が開講の挨拶を行い、続いて県土整備部水・環境課の酒井彰彦課長が開催県を代表して挨拶を、また受付機関を代表して県環境技術センターの大坂利弘会長が挨拶を行った。

続いて講義に先立ち、教育センターの矢橋毅講習事業グループリーダーによるオリエンテーションが行われ、矢橋講師による講義(浄化槽概論)がスタートした。

13日間の講義内容は次のとおり

講習内容は

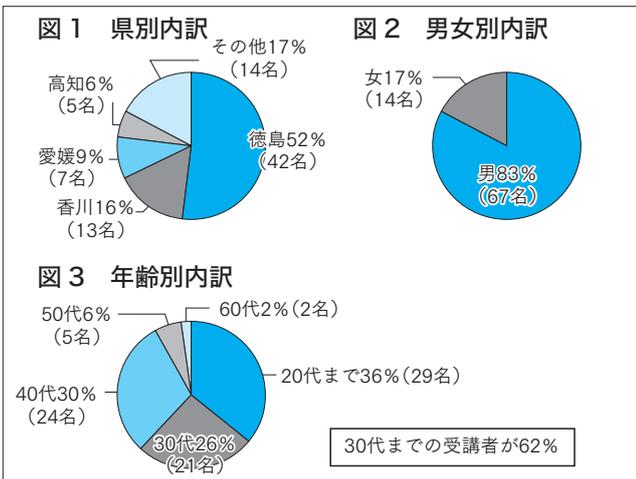
- ① 浄化槽概論
- ② 浄化槽行政概論
- ③ 浄化槽の構造及び機能
- ④ 浄化槽の点検、調整及び修理
- ⑤ 工事概論
- ⑥ 水質管理
- ⑦ 清掃概論

となり、最終日に考査が実施された。

結果の発表は7月中旬を予定している。

受講者の内訳はグラフのとおりである。

今回の開催は、徳島県での今後の若い世代の技術者不足対策で開催したが、世代別では、30代までが60%を超えており、将来の保守点検業を担う次世代の養成という当初の目的はとりあえずクリアできたと思われる。



全浄連が 第3回定時総会開催

一般社団法人全国浄化槽団体連合会の第3回定時総会が、平成27年6月8日、東京都千代田区のホテルグランドパレスで開催された。

上山会長の開会挨拶の後、寺井副会長(愛媛県浄化槽協会会長)が議長となり議事に入った。

議事では、平成26年度事業報告・決算報告・監査報告がなされ、続いて平成27年度事業計画ならびに収支予算が報告されたが、いずれも原案どおり承認され可決した。

また総会では、「環境にも財政にも優しく、地震にも強い」世界に誇るべき生活排水処理システムである浄化槽を、今後さらに推進するべく取り組みを進める旨のスローガンが決議された。

次に役員選任として、伊藤英紀専務理事の退任に伴い、新専務理事として坂本文男氏((公財)健康・体力づくり事業財団事務局長)が選任された。

この後、第28回業界功労者表彰が行われ、全浄連会長顕彰24名、同会長表彰24名、同会長感謝状14名の、計62名に賞状が贈呈された。

当センターからは、

- ・会長表彰 吉岡 誠 氏(センター理事)
- ・会長感謝状 眞貝アサ子 氏(センター会員)

が受賞された。

総会終了後、環境省浄化槽推進室浄化槽企画官・吉川圭子氏による、「浄化槽行政の現状と今後の取組」と題した特別講演が行われた。講演の後、質疑応答も行われたが、当センター大坂会長が、三好市で実施のPFIによる市町村設置型浄化槽整備事業を取り上げ、環境省でも更に市町村設置型を推進していただけるよう要望した。これに対して吉川氏からは、汚水処理に関しては、国土強靱化アクションプランも踏まえ、災害にも強い浄化槽の市町村設置事業を推進したい旨の回答をいただいた。

定時総会開催に伴う、懇親会も開かれたが、望月義夫環境大臣、高市早苗総務大臣をはじめ数多くの大臣や、国会議員が駆けつけ、非常に盛会な懇親会となり、総会・特別講演・懇親会とも成功裏のうちに閉幕した。



吉岡 誠 理事

26年度 全国浄化槽出荷台数 過去最低

一般社団法人浄化槽システム協会が発表した、平成26年度の浄化槽出荷台数は、消費増税の反動から、大きく落ち込み、12万7,246基（前年度対比14.6%減）で過去最低となった。

5～10人槽の家庭用は、116,690基（前年度対比15.4%減）、11～50人槽は8,821基（前年度対比5.1%減）であった。

家庭用の5～10人槽においては、どの地区でも減少しており、消費増税の影響が伺える。

5～10人槽の場合、県別で見ると、特に大きく落ち込んだのが、鳥取県で217基（昨年度対比35.6%減）、京都府519基（昨年度対比34.8%減）と30%以上の落ち込みとなった。

＜表-1＞ 平成26年度（4月～3月）
小型合併浄化槽 工場生産出荷台数（ブロック別）

ブロック	5～10人槽		11～50人槽		合計	
	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比
北海道	1,532	85.5%	135	122.7%	1,667	87.7%
東北	12,792	87.6%	1,017	91.4%	13,809	87.9%
関東甲信越	34,861	85.3%	2,263	98.1%	37,124	86.0%
北陸	1,146	73.4%	142	97.3%	1,288	75.5%
中部	19,926	84.5%	1,556	97.5%	21,482	85.3%
近畿	6,510	78.3%	602	92.3%	7,112	79.3%
中国	8,809	85.1%	562	85.0%	9,371	85.1%
九州	21,810	84.5%	1,738	92.4%	23,548	85.0%
四国	9,304	84.1%	806	97.7%	10,110	85.0%
香川県	2,992	83.9%	276	92.3%	3,268	84.6%
徳島県	2,423	84.8%	236	94.4%	2,659	85.6%
愛媛県	2,225	78.4%	186	116.3%	2,411	80.4%
高知県	1,664	92.2%	108	93.1%	1,772	92.2%
合計	116,690	84.6%	8,821	94.9%	125,511	85.2%

県内 設置届受付数も 17%減

環境技術センターがまとめた平成26年度の県内の浄化槽設置届出書及び計画書の受付数は、2,598基で、昨年度対比で538基減17%減となった。

県内全体の過去3年間の受付数は表-2のとおりであり、汚水処理率向上及び業界活性化の観点からも、単独から合併への転換対策が急務である。

＜表-2＞

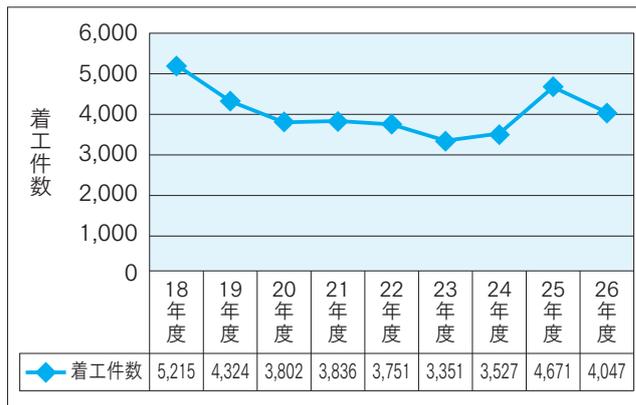
	24年度	25年度	26年度
東部	2,289	2,438	1,973
南部	394	405	389
西部	281	293	236
計	2,964	3,136	2,598

26年度 住宅着工件数 県内 13%減

県住宅課建築指導室の資料によると、平成26年度の県内の住宅着工件数は、4,047戸（前年度4,671戸）で624戸減（13%減）となった。＜図4＞

特に徳島市、吉野川市、石井町、松茂町で大きく落ちこんだ結果となった。

図4 県内住宅着工件数の推移



美しい海を守る 「横須金磯海岸周辺の水質検査を実施」

国・県・市町村等関係機関で構成する「瀬戸内・海のパラダイム推進協議会」の事業の一環で「リフレッシュ瀬戸内」が今年も6月13日に開催される。海浜の清掃活動を通じ多くの参加者に美しい海を守ることの大切さを訴えていくことを目的としている。

協賛事業として毎年、当センターは事前の水質検査の依頼を受け実施しており、今年も平成26年5月22日に横須金磯海岸周辺の水質検査を実施した。

天候が変わりやすい日が続いたが、当日は非常に晴天に恵まれ、船上での現場調査やサンプリング作業は、爽やかな風の中スムーズに完了した。外観等は特に問題なく、昨年より水質が良好であることを期待したいものである。

現在、糞便性大腸菌群数、油膜の有無、COD、透明度、病原性大腸菌O-157について測定中である。

水質検査の結果については、小松島市役所HPや広報誌に掲載される予定。

環境技術センターでは、今後もこのような公益活動事業に積極的に参加し、徳島県の水環境の保全に貢献していきたい。



あすたむらんどで エコ工作

環境月間の特別事業

6月の環境月間に先だち、5月31日(日)にあすたむらんど徳島で『環境月間特別エコ工作』のイベントを開催した。

毎年みずすまし隊がいろいろなアイデアを企画し、環境保全をPRするイベントを実施しているが、好評につき恒例事業となっている。

今年取り上げたテーマは、～保冷剤で消臭剤や芳香剤を作ろう～というテーマで、どこの家庭にも眠っている保冷剤を再利用するというエコ工作である。

今回は、大塚検査員が講師となり、事前に申し込まれた家族と一緒にこのエコ工作に取り組んだ。

子供たちは、家庭から持ち寄った冷蔵庫に眠っていた保冷剤を小さなかawaii容器に取り出し、自分好みの色や香りをつけオリジナルの作品を製作。さらにアクリル粘土でかたどったクッキーを飾り付けると、見た目も可愛らしいパフェに仕上がった。今回は、午前と午後の2部構成で、各10家族のみの申込制であったが、受け付け開始後すぐに満員となり、その後も問い合わせが多く寄せられるなど、開催前から大きな反響があった。

また保冷剤を使ったエコ工作以外にも、当日自由に参加できる企画として、美水ちゃんラリーも同時開催。段ボールを使って、クルマやケーキを作るエコ工作や、

絶滅危惧種がプリントされた立体メッセージカードの製作なども行い、たくさんの家族連れが参加した。

当センターは、今後も、子供たちに『環境保全』について興味を持ってもらえるような企画を創意工夫し、あそびを通じて、「環境を守る取り組み」を広げたい。



完成品

水質計量便り

～海の汚染「マイクロプラスチック」～

以前から海流によってプラスチック製品などが海を漂流し、大量に浜辺に打ち上げられるなど海のごみ問題は世界中で被害が報告されています。さらに、海の生物が、プラスチックを摂食し又はのどに詰まらせ衰弱するなど問題視されていました。

しかしながら、最近では全体の7割を占めるともいわれるプラスチック類の漂流ごみが、海岸に漂着し、波や海岸での摩擦、温度差や紫外線の影響をうけ劣化。その結果5mm以下へ微細化された粒子『マイクロプラスチック』が新たな海洋環境の汚染として懸念されています。

このマイクロプラスチックは、有害物質を吸収しやすい性質であることと、1mm以下のマイクロプラスチックになると、動物プランクトンのサイズに似ていることなどから、専門家は、生物が間違えて周辺海域に溶け込んだ残留性有機汚染物質 (POPs) などを取り込み、さらにそれらは食物連鎖で濃縮されていく可能性を指摘しています。

この生態系への影響を調査するために、環境省も本格的に調査に乗り出し、学術機関でも、南極海を含む世界規模で実態調査が進んでいるようです。

プラスチックは自然界で分解されず、また目に見えないぐらい小さな破片になると、回収も難しいほか、海流により世界中へ広がってゆきます。

この大きな問題に、今私たちにできることは限りが有りますが、出来ることから始めたいものですね。

まずは、第一歩として、今年も海浜の清掃ボランティアである「リフレッシュ瀬戸内」が開催されます。マイクロプラスチックの発生源である、ペットボトルなどを中心に収集してきたいと思います!!ヽ(´o`)ノ

by koizumi

事務局だより

法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。

○11条検査

日程：平成27年7月8日～8月4日
地区：徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町

○北島町一斉検査

日程：平成27年7月27日～8月4日

○7条検査

日程：平成27年7月13日～8月7日
地区：藍住町・北島町・石井町・神山町・
吉野川市・阿波市・美馬市・三好市・
つるぎ町・東みよし町・佐那河内村

○那賀町検査(らくらくあんしん協議会)

日程：平成27年7月13日～8月7日
地区：那賀町全域

○神山町検査(神山町きれいな水づくり協議会)

日程：平成27年7月13日～8月7日
地区：神山町全域

